

平成 26 年 10 月 17 日

お客様各位

住友化学園芸株式会社

**「家庭園芸用GFオルトラン®水和剤」「家庭園芸用GFオルトラン®粒剤」「オルトラン®DX粒剤」
登録内容変更のご案内**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社 殺虫剤「家庭園芸用GFオルトラン®水和剤(登録番号:第 21819 号)」、「家庭園芸用GFオルトラン®粒剤(登録番号:第 21789 号)」および「オルトラン®DX粒剤(登録番号:第 21733 号)」におきまして、本年 11 月 17 日に登録内容を別紙のとおり変更予定ですのでご連絡申し上げます。

使用者様及びお取扱各位へ登録変更内容の周知及び登録変更後の内容に従ってご使用頂けるよう、ご指導くださいますようお願い申し上げます。

敬具

(別紙)

1. 平成 26 年 11 月 17 日に登録が下りた後の、変更箇所(下線で明示)を含む全登録内容を下記する。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アセフェートを含 む農薬の 総使用回数
キャベツ	ヨウムシ、ハスモンヨウ タマキンウワバ	1000～1500 倍	100～ 300ml /m ²	<u>収穫 30 日 前まで</u>	<u>1 回</u>	散布	<u>2 回以内</u> <u>(定植時までの処理 は 1 回以内、定植後 の散布は 1 回以内)</u>
	アオムシ、コナガ アブラムシ類	1000～2000 倍					
はくさい	カブラハバチ、ヨウムシ ハスモンヨウ	<u>1500 倍</u>					
	アオムシ、コナガ、 アブラムシ類	<u>1500</u> ～2000 倍					
レタス	ヨウムシ	1000～1500 倍		3 回以内	3 回以内		3 回以内
	オオタバコガ	1000 倍					
非結球レタス	ヨウムシ	1000～1500 倍		3 回以内	3 回以内		3 回以内
	オオタバコガ	1000 倍					
ばれいしょ	ヨウムシ テントウムシダマシ幼虫	1000 倍		<u>収穫 30 日 前まで</u>	<u>2 回以内</u>		<u>3 回以内</u> <u>(植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)</u>
	アブラムシ類 ジャガイモガ	1000～1500 倍					
だいず	ハスモンヨウ アブラムシ類	1000 倍	3 回以内	収穫 60 日 前まで	3 回以内	3 回以内	
えだまめ				収穫 21 日 前まで			
いちじく	アザミウマ類	2000 倍	200～ 700ml /m ²	収穫 45 日 前まで	1 回	1 回	
いんげんまめ	アブラムシ類	1000 倍	100～ 300ml /m ²	収穫 14 日 前まで	3 回以内	3 回以内	
たまねぎ	ネギアザミウマ			収穫 21 日 前まで	5 回以内	5 回以内	
にんにく	ネギコガ、アブラムシ類			収穫 7 日 前まで	2 回以内	2 回以内	
オクラ	アブラムシ類 ミドリヨコバイ			<u>収穫開始 7 日前まで</u>	1 回	1 回	
しょうが	アワノメイガ			収穫 45 日 前まで	2 回以内	2 回以内	

作物名	適用病害虫名	希釈倍率	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アセフェートを含 む農薬の 総使用回数			
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	1000 倍	100～ 300ml /㎡	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内			
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～ 2000 倍	200～ 700ml /㎡	収穫 60 日 前まで	1 回		1 回			
	ハマキムシ類	1500 倍		収穫 45 日 前まで	2 回以内		2 回以内			
かき	カキクダアザミウマ カキハタムシガ チャノキイロアザミウマ			発生初期	5 回以内		5 回以内			
つつじ類	ツツジグンバイ	1500 倍	100～ 300ml /㎡	発生初期	5 回以内		10 分間 球根 浸漬			
	アザミウマ類	1000 倍								
つばき類	チャトクガ	1500 倍								
	アザミウマ類	1000 倍								
さくら	アメリカシロヒトリ	1500～2000 倍								
	モンクローヤチホコ	1000～1500 倍								
	アザミウマ類	1000 倍								
花き類・ 観葉植物	アザミウマ類 アブラムシ類	1000～1500 倍								
きく	マメハモグリハエ オオタバコガ	1000 倍								
グラジオラス	アザミウマ類					—		植付時	1 回	
ストック	コナガ ハイマダラノメイガ					100～ 300ml /㎡		発生初期	5 回以内	散布
宿根アスター	ヨメナスジハモグリハエ									
オンシジウム	カイガラムシ類									
カーネーション	コナガ									
ひまわり	タバコガ									
斑入りアマドコロ リアトリス	ハマキムシ類									
樹木類 (つつじ類、 つばき類、 さくらを除く)	アザミウマ類		200～ 700ml /㎡							
芝	スジキリヨトウ、シバツトガ タマナヤガ、ケラ		1～ 2L/㎡							
	シバオサザウムシ成虫		2L/㎡							
	アカフツツリガ		0.5～ 1L/㎡							

2. 適用病害虫の範囲または使用方法の変更の内容

- ① 以下の作物を削除する。

なす	ブロッコリー	だいこん	はつかだいこん
トマト	ミニトマト	かんきつ	

- ② 作物名「キャベツ」の「使用時期」を「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」、「本剤の使用回数」を「3 回以内」から「1 回」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3 回以内」から「2 回以内（定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内）」に変更する。
- ③ 作物名「はくさい」の「希釈倍数」をそれぞれ「1000～1500 倍又は 1000～2000 倍」から「1500 倍又は 1500～2000 倍」、「使用時期」を「収穫 14 日前まで」から「収穫 30 日前まで」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ④ 作物名「レタス」の「使用時期」を「収穫 14 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に変更する。
- ⑤ 作物名「ばれいしょ」の「使用時期」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」、「本剤の使用回数」を「4 回以内」から「2 回以内」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 4 回以内）」から「3 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内）」に変更する。
- ⑥ 作物名「とうもろこし」を「未成熟とうもろこし」に変更する。
- ⑦ 作物名「ぶどう」の「使用時期」をそれぞれ「収穫 30 日前まで」から「収穫 60 日前まで」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「2 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑧ 作物名「かき」の「適用病害虫名」の「カキダアザミウマ、チャノキイロアザミウマ、カキハタムシ」の「希釈倍数」を「1000～1500 倍」から「1500 倍」に変更し、「適用病害虫名」の「カキヒメコバエ」を削除する。
- ⑨ 作物名「オクラ」の「使用時期」を「収穫 7 日前まで」から「収穫開始 7 日前まで」に変更する。
- ⑩ 使用液量の欄を追加する。

(別紙)

1. 平成 26 年 11 月 17 日に登録が下りた後の、変更箇所(下線で明示)を含む全登録内容を下記する。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	アオムシ コナガ ヨウムシ アブラムシ類	3~6g/m ² (1株当り 1~2g)	<u>定植時</u>	1回	<u>植穴処理</u>	2回以内 (<u>定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内</u>)	
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期		散布		
はくさい	アオムシ コナガ ヨウムシ アブラムシ類	3~6g/m ² (1株当り 1~2g)	<u>定植時</u>		<u>植穴処理</u>	1回	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ				<u>植溝散布又は植穴処理</u>		
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ				<u>株元散布</u>		
ピーマン	アブラムシ類	1株当り 2g	株元散布				
ブロッコリー	ヨウムシ	6g/m ² (1株当り 2g)	株元散布				
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3~4g/m ²	は種前		1回	<u>植溝散布</u>	
かぶ		4g/m ²	<u>収穫 21 日前まで</u>			株元散布	1回
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6g/m ² (1株当り 1~2g)	<u>植付時</u>			植溝散布	3回以内 (<u>植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内</u>)
えだまめ	ハスモンヨウ	3~6g/m ²	収穫 21 日前まで	3回以内	生育期株元散布	3回以内	
なばな	アブラムシ類	6g/m ²	定植時	1回	植溝土壌混和	1回	
			は種時		播溝土壌混和		
花き類・観葉植物 (きく、 宿根スターチス、 カーネーション、 アリウムを除く)	アザミウマ類 アブラムシ類	3~6g/m ²	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内	
	ヨウムシ類	6g/m ²					

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
きく	アザミウマ類 アブラムシ類	3～6g/m ²	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
	ヨトウムシ類 ネキリムシ類 ハモグリハエ類	6g/m ²				
宿根スターチス	アザミウマ類 アブラムシ類	3～6g/m ²				
	ヨトウムシ類 コガネムシ類幼虫	6g/m ²				
カーネーション	アザミウマ類 アブラムシ類	3～6g/m ²				
	ヨトウムシ類 コナカ	6g/m ²				
アリウム	アザミウマ類 アブラムシ類	3～6g/m ²				
	ヨトウムシ類 ネキコガ	6g/m ²				
芝	スジキリヨトウ シバツトガ	10g/m ²	全面散布			
	タマナヤカ	5～10g/m ²				

2. 適用病害虫の範囲または使用方法の変更の内容

- ① 以下の作物を削除する。

ミニトマト	はつかだいこん
-------	---------

- ② 作物名「キャベツ」の「使用時期」を「定植時及び収穫 21 日前までの生育期」から「定植時」、「本剤の使用回数」を「3 回以内」から「1 回」、「使用方法」を「定植時植穴散布及び生育期葉面散布」から「植穴処理」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3 回以内」から「2 回以内(定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内)」に変更する。
- ③ 作物名「はくさい」の「使用時期」を「定植時及び収穫 21 日前までの生育期」から「定植時」、「本剤の使用回数」を「3 回以内」から「1 回」、「使用方法」を「植穴散布及び生育期株元散布」から「植穴処理」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ④ 作物名「トマト」の「使用時期」を「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「本剤の使用回数」を「3 回以内」から「1 回」、「使用方法」を「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「植溝散布又は植穴処理」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑤ 作物名「きゅうり、なす」の「使用時期」を「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「本剤の使用回数」を「3 回以内」から「1 回」、「使用方法」を「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「植溝散布又は植穴処理」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑥ 作物名「ピーマン」の「使用時期」を「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「本剤の使用回数」を「3 回以内」から「1 回」、「使用方法」を「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「株元散布」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑦ 作物名「ブロッコリー」の「使用時期」を「定植時及び収穫 14 日前までの生育期」から「定植時」、「本剤の使用回数」を「3 回以内」から「1 回」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑧ 作物名「だいこん」の「使用方法」を「は種前植溝散布」から「植溝散布」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「2 回以内(は種前及びは種時の処理は合計 1 回以内)」から「1 回」に変更する。
- ⑨ 作物名「かぶ」の「使用時期」を「収穫 14 日前まで」から「収穫 21 日前まで」に変更する。
- ⑩ 作物名「ばれいしょ」の「使用時期」を「植付前」から「植付時」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5 回以内(植付時の処理は 1 回以内、植付後は 4 回以内)」から「3 回以内(植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)」に変更する。

3. ラベルの**効果・薬害等の注意事項**の以下 3 文を削除し、【**効果・薬害等の注意 変更後**】に改める。

- 生育期に葉面散布する時はできるだけ作物の葉にのるように行うこと。但し、播きむらがあると薬害を生じるおそれがあるので均一に散布すること。
- 生育期の葉面散布は生育初期に行うこと。また、害虫の発生初期に時期を失しないように行うこと。
- キャベツの場合、定植時の植穴散布のみでは効果の劣ることがあるので生育期の葉面散布を併用することが望ましい。

【**効果・薬害等の注意 変更後**】

- (1) 土壌が極度に乾燥しているときは使用しないこと。
- (2) 芝のスジキリヨトウ、シバツトガ及びタマナヤガの防除に使用する場合、散布後 1 m²当たり 500～1000 mL の散水処理は有効である。
- (3) ミツバチ及び蚕に影響があるので注意して使用すること。
- (4) つまみ菜、間引き菜に使用しないこと。
- (5) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(別紙)

1. 平成 26 年 11 月 17 日に登録が下りた後の、変更箇所(下線で明示)を含む全登録内容を下記する。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
花き類・観葉植物 (ペゴニア、はぼたん、ガーベラを除く)	アブラムシ類	1g/株 (但し、40g/m ² まで)	発生初期	4 回以内	生育期 株元処理	5 回以内	4 回以内
ペゴニア	アブラムシ類 コガネムシ類幼虫	2g/株 (但し、40g/m ² まで)					
はぼたん	アブラムシ類 アオムシ						
ガーベラ	アブラムシ類 ハモグリバエ類						
クロトン	ミカンコナカイガラムシ						
トマト	アブラムシ類	1g/株	定植時	1 回	植穴処理 土壌混和	<u>1 回</u>	4 回以内 (育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 3 回以内)
なす		2g/株					
きゅうり	コナジラミ類						

2. 適用病害虫の範囲または使用方法の変更の内容

作物名「トマト、なす、きゅうり」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3 回以内」から「1 回」に変更する。